

風船かずら

～ 花言葉「一緒に飛びたい！」～



「農業ジョブトレーナー養成講座」を開催！

11月30日、12月1日の「農福連携全国サミット in みえ」に続き、12月17日～18日、東員町役場、シグマファームとういんの皆様のご協力のもと、農業ジョブトレーナー養成講座を開催することができました。県内はもとより、愛知県、遠く青森県・熊本県からも参加いただき、農福連携への関心の高さ、拡がりを感じた研修会となりました。

一日目は「障がい者雇用の関係制度と概要」を学んだあと、無門福祉会の磯部竜太さんより「愛知県豊田市における農福連携の取り組み」の報告をいただきました。精神障がい会社を辞めさせられたあと閉じこもり、週に一日それも半日ほどしか通って来なかった女性が、農業班に入りイチゴの世話を始めて一か月ほどしたら「私、明日から毎日来ます。私が来ないとイチゴがダメになりますから」と明るく話し、今では指導的な立場にあるとのことのお話は感動でした。そして、「障がい者雇用の実践・多様な就労」という演題で本協議会の業務執行理事の伊藤良一さん（株式会社レグルス社長）から障がい当事者として、また経営者としての視点でお話いただきました。1995年転落事故で一級の身体障がいになられてからも経営者として障がい者雇用に取り組んでみえた経験から「間違っていた点」として3点をあげられました。①障がい者も職業選択の自由があるべきでできるだけ多くの職業を選択することが成熟した社会の責任である。②多くの障がい者が一緒に働く職場がいいと考えていたが、障がい者も健常者と共に頑張りたいと思っている。勝手な思い込みは禁物。③障がい者を助けてやってくれと言っていた。能力を最大限発揮できるようしっかり指導・教育することが会社の務めである。多様な職業選択を提供できるという点でも農業は非常に有効であると結ばれました。



二日目の午前中は、シグマファームとういんの圃場をお借りして野菜洗い、菜花の収穫の実習を行いました。菜花の収穫は、どの部分を収穫したらよいのかとても難しく、利用者の皆さんが手際よく作業してみえ、とても頼もしく感じました。

最後の講座は、ケーススタディ。日本園芸福祉普及協会理事の前川良文さん（緑生園社長）から提示された資料をもとに3班に分かれて協議したあと、支援計画を発表。前川さんの豊富な知識と経験で進められたこの講座は、とても楽しく、それでいて要点を射ていて、和やかな雰囲気の中に終わることができました。

◆青森・熊本より参加いただいた方々の紹介です。

アグリの里おいらせ観光農園「アグリの里おいらせ」は、年間を通して楽しめる体験型の総合観光農園です。「見る、収穫する、食べる、ふれあう」をテーマとして、お年寄りや障がいのある方にも優しい観光農園をめざしています。（パンフレットより）

NPO法人くまもと障がい者就労支援ネットワーク

障がい者が主体となって事業運営する「らぶらんどカフェ」を運営。被災地宮城の障害者工房のかりんとうを販売。

障がい者就農支援スキルアップ研修講座のご案内

2月22日（水）総合文化センター レセプションルーム

23日（木） 〃 第2ギャラリー

※詳細は案内をご覧ください。ぜひご参加ください！

三重県障がい者就農促進協議会

〒514-0003

三重県津市桜橋2丁目142

三重県教育文化会館1F

TEL059-253-4187 fax059-253-3359

E-mail mieshuno@dune.ocn.ne.jp

HP <http://mieshuno.net/>